かながわと世界をつなぐ

KIF NEWS

2009.3
No. 12
かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation

ケイアイエフ　ニュース

朝鮮学校と横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー（YICA）の子どもたち

アクアレラ・ブラジル人学校の授業風景

特集

日本の中の外国人学校

日本で最初の外国人学校が開設されたのは19世紀末。近年では経済のグローバル化に伴って、その学校数、在籍児童生徒数も増加しています。しかし、法律上では日本の「学校」と異なる扱いを受ける場合もあり、課題も指摘されています。

独自のカリキュラムを持ち、日本語以外の言語での教育に力を入れているため、その存在や様子を知る機会が少ない外国人学校。今回は、外国人学校の現在と学校間のネットワークづくりについて紹介します。

■「かながわ日本語学習マップ」「神奈川県内の日本語学校」の紹介 …… 4
■ 知をめぐる対話シリーズ（10）
神野 直彦さん（東京大学経済学部・大学院経済学研究科教授） …… 5〜7
■ KIF Report　かながわ国際交流財団が行った様々な事業の報告
日中文化講座、湘南国際村アカデミア、「地域の国際化を考える」セミナー2009、外国につながる子どもの支援を考える ……8
■ Event Schedule　これから開催される催しのお知らせ
会員のつどい、日中文化講座、映画上映会、青少年国際セミナー（K-PIT）…… 9
世界の文化セミナー、春期英会話講座 ……10

かながわのキーパーソン　片岡 希さん（映画『中華学校の子どもたち』監督）……11
MIXED RECOMMEND 「フツウ」ということ……11

特集 日本の中の外国人学校

神奈川外国人学校ネットワーク準備会の会議の様子。左が裵安（ぺい あん）さん。

全国の外国人学校

日本で世代を重ねる在日コリアンや華僑の子どもたち。日本で生まれた移民第２世代のニューカマーの子どもたち。多様化する「外国につながりを持つ子どもたち」が日本で教育を受けるときの選択肢である外国人学校は、現在全国に200校以上あるといわれている。

来日の背景や外国人コミュニティの歴史の長さ等により、各学校の特色は大きく異なる。神奈川県には国内最古のサンモール・インターナショナルスクール（1892年開校）や、横浜山手中華学校、横浜中華学院、東京横浜独逸学園など1世紀以上の長い歴史を持つ学校がある。一方、インド系インターナショナルスクールのように今年開校予定の学校もあるのが神奈川の特徴である。（3ページの神奈川県内の外国人学校一覧を参照）

格差の解消を求めて

全国で約23,000人の子どもが学ぶ外国人学校だが、現行の法律では「学校」として認められず、自動車教習所等と同様の各種学校として扱われるか、あるいはその認可さえも受けられない学校もある。（注１）

そのため、日本の学校に認められている税制の優遇や公的助成の対象とならず、健康診断等への公的支援も受けることができない。地方自治体からの補助も一般の私立学校と比べると少なく、その分学費などの負担が高くなってしまう。

南米出身者の集住する東海地方などには、ブラジルやペルー出身の子どもたちが通う学校が集中するが、昨今の経済危機の影響で解雇された保護者が月3～5万円の授業料を払いきれず退学するケースが続出している。最盛期には100校近くあった学校の中には存続も難しい学校もあり、退学した子どもたちが不就学状態になることも懸念されている。

ブラジル人学校の歴史は浅く、各種学校の認可を得ていない場合も多いが、子どもが教育を受ける権利を保障するためにも現在の厳しい認定基準の緩和を求める声も多い。NGOかながわ国際協力会議で2008年10月に出された第5期提言でも、外国人学校に係わる２つの提言が盛り込まれた。（注２）

神戸で始まったネットワーク

そんな中で、共通の課題を持った外国人学校同士が、横のつながりを作り協力して知恵を出し合おうという動きがある。最初に取り組みが始まったのは兵庫県で、阪神淡路大震災で校舎の全壊などの被害を受けた計19校の外国人学校が兵

庫県外国人学校協議会を結成し、教育振興の補助などを訴えた。

複数の学校が共通の課題について共同で呼びかけることによって、行政に声が届きやすくなる。協議会は外国人学校の地位向上の諸活動を展開し、国連本部で大学受験資格の差別待遇問題についての報告もしている。

外国人学校同士の連携は全国にも広がり、他県で同様のネットワークが結成された他、共通の課題について発表・議論する場「多民族共生教育フォーラム」も2008年までに計4回開催され、外国人学校の制度的保障に関する市民提言が出されている。

神奈川県内のネットワーク

現在、神奈川県でも「神奈川外国人学校ネットワーク」設立の準備が進められている。この準備会のコーディネーターを務める裵安(ぺい あん)さんによると、2年前から月１回程度のミーティングを重ねるうちに学校間での信頼関係が生まれ、協力して共通の課題に取り組もうという雰囲気が生まれてきたそうだ。

このネットワーク準備会には、学校関係者だけではなく、弁護士、行政職員、ＮＧＯ関係者、学生なども参加しており、外国人学校を支える裾野が広がっている。例えば「入学おめでとう応援隊」という活動があり、県内の朝鮮学校に入学する子どもたちが安心して学校生活を始められるようにと、2003年から毎年有志が集まり4月に活動を行っている。(注３)

新しい出会いの場づくり

ネットワーク設立の準備に参加している学校間では子ども同士の交流も生まれている。学校外に出る機会が少ない外国人学校で学ぶ子どもたちだが、各学校の行事に相互に参加することなどを通して新しい世界を知る機会が生まれている。

また外国人学校の教員や生徒だけでなく、保護者間の交流、情報交換の機会も生まれている。例えば、朝鮮学校の運営面だけでなく経営面でも貢献をしてきた保護者の組織「オモニ会」に影響され、他校でも保護者会を作ろうという流れが生まれ、学校内外の協力者が増えることで係わる人が増え、活動の幅も広がってきている。

今年5月16日(土)、17日(日) に開催される「多文化共生」をテーマとしたイベントである「あーすフェスタかながわ2009」にも、複数の外国人学校の子どもたちが参加する予定だが、展示やスピーチの発表等を通じて、外国人学校の存在をアピールし、同時に新しい出会いの場になることが期待されている。

制度上の問題は、外国人学校一校が単独で解決することは難しい。しかしネットワークを活かし、その存在を知ってもらう機会を増やすことは、外国人学校に対する理解を深め、協力の輪を拡げることにつながるのではないか。

【参考文献】
『日本の中の外国人学校』月刊『イオ』編集部編・明石書店
『外国人学校』朴三石著・中公新書

(注１) 国公立・私立の教育機関(幼稚園～大学) は学校教育法第１条によって「学校」とされているが、外国人学校はこの法律では「学校」とは認められていない。

(注２)「NGOかながわ国際協力会議」第５期提言
提言５　外国人学校に係わる制度の改善について
県は、文部科学省が「告示」を改正して、朝鮮学校・中華学校・韓国学園などの外国人学校を「特定公益増進法人」の対象として寄付金の免税措置が受けられるようにし、また校舎の建設費用などへの寄付に適応される「指定寄付金」としての免税措置も受けられるよう、その実現を目指して国に対して養成を行う。
提言６　外国人学校の各種学校としての認可について県は、新たに設置された無認可の外国人学校の実情を正確に把握し、現状に沿った形で各種学校認可基準を緩和する。

(注３)「入学おめでとう応援隊」では、県内の朝鮮学校の入学式に参加するボランティアも募集している。詳細は下記 URL参照。
http://omedetou.npgo.jp/

●神奈川県内の外国人学校一覧

2009年度には新たにインド系インターナショナルスクールも開校予定。この一覧の他に、教会や任意団体が運営している学校もあります。

・鶴見朝鮮初級学校
・神奈川朝鮮中高級学校
・横浜朝鮮初級学校
・サンモール・インターナショナル・スクール
・ホライゾン・ジャパン・インターナショナルスクール
・横浜インターナショナル・スクール
・横浜山手中華学校
・横浜中華学院
・東京横浜独逸学園
・川崎朝鮮初中級学校
・南部朝鮮初級学校
・横須賀朝鮮初級学校
・横浜インターナショナル・クリスチャン・アカデミー(YICA)
・アクアレラ・ブラジル人学校

コラム 書籍紹介

『外国人学校―インターナショナル・スクールから民族学校まで』

著　　者：朴　三石
出 版 社：中央公論新社
出 版 年：2008 年

日本にある外国人学校の子どもたちの学校生活や授業の様子を紹介。日本の公立学校や私立学校とどんな違いがあり、そのためにどんな困難を抱えているのかを解説している。「身近な異文化」でもある外国人学校の意義について考える一冊。

かながわ国際交流財団のおすすめホームページ

「かながわ日本語学習マップ」と「神奈川県内の日本語学校」の紹介

神奈川では、外国につながる人々の暮らしをサポートするために様々なボランティア団体が活動しています。民間の日本語学校もあり人々の進学や就職をサポートしています。ぜひ情報が必要な周囲の方にこの存在を伝えてください。また「日本語学習マップ」には、ボランティア受け入れの有無など日本語を教えるボランティア活動への参加を考えている方にも役立つ情報があります。

※情報更新の利便性や人を介して情報が伝わることにより生まれる関係性などを考えて日本語で作成されています。

Volunteer

INFORMATION 1

かながわ日本語学習マップ

http://www.k-i-a.or.jp/classroom/

■情報提供・問合せ
国際協力課（担当：もりた）
TEL:045-896-2964
FAX:045-896-2945
※祝日除く月曜休み

県内のボランティアにより運営されている日本語教室・学習補習教室(1)・母語教室(2)を紹介しています。2002年3月から公開され、現在約130グループの活動概要と開催地などの情報があります。

(1) 学習補習教室：外国にルーツのある子どもの日本語や教科学習を補う場。子どもたちの居場所にもなっています。
(2) 母語教室：外国にルーツのある子どもが、親の世代からの母語を学ぶ場。子どもたちの居場所にもなっています。
※まだ掲載されていないグループがありましたらお知らせください。掲載用の書類をお送りします。

School

INFORMATION 2

神奈川県内の日本語学校

http://www.k-i-a.or.jp/plaza/shisetsu/forum/japanese/j-school/

■情報提供・問合せ
情報サービス課（担当：やまむら）
TEL:045-896-2896
FAX:045-896-2945
※祝日除く月曜休み

県内の日本語学校で留・就学生以外の外国籍県民の受け入れやそのコースの詳細・料金等を掲載したホームページです。日本語学校を探すときの参考に活用ください。

知をめぐる対話 ⑩

湘南国際村学術研究センター

時代の転換点に向き合うこと、未来を描くこと

神野　直彦さん（東京大学経済学部・大学院経済学研究科教授）

財団では、「新しい都市と地域」をテーマとした21世紀かながわ円卓会議※を今年度と来年度の2カ年にわたり開催します。この円卓会議のモデレーターを務めていただく神野さんに、これからの社会像やそれを考えるようになった背景などをお聞きしました。

労働の現場に行こう

―神野先生は大学で財政学を学んだ後に、研究者にはならずに民間企業に就職されていますね。

大学では広く社会全体のことを学びたいとの思いから、財政学を選び、ゼミでは「日本経済と財政金融」をテーマに学びました。当時（1960年代末）は、サルトルとカミュが論争している時代であり、サルトルにはとても影響を受けましたね。卒業後の進路については、大学院に進み研究者になりたいという思いがありましたが、ちょうど東大闘争のときで、学生運動が激しくて大学院の試験も行われず、とても進学できる状況ではなかったので就職することにしました。

当時、大学には小説「人間の条件」のモデルになったといわれている隅谷三喜男（すみや・みきお）先生がいらっしゃいました。先生は、満州の製鋼所に勤務しておられ、帰国後、満州労働問題などを始め労働経済学の研究者として大学に戻られておりました。就職するときには、その隅谷先生の影響や、サルトルと論争した女性哲学者シモーヌ・ヴェイユが「女工」として肉体労働の経験を綴った『工場日記』が印象に残っていたこともあり、「労働の現場に行こう」と考え、日産自動車に就職しました。

人間を人間らしく管理するために

日産自動車では、一貫して人事管理の部署に所属していましたが、人事の仕事をやるからには、現場のことをきちんと知りたいと思い、最初の一年間は組立工とまったく同じ生活をさせてもらいました。同じ寮に入れてもらい、追浜（神奈川）や村山（東京）にある工場などを転々として働きました。また、その後は名古屋で１年半、営業・販売の仕事もしました。そのような経緯も

あったせいか、労働組合の専従職員になるように言われましたが気が進まず、大学の恩師に相談しました。すると「大学も落ち着いて、勉強ができる環境になった」とのことでしたので、会社を辞め大学院に進学しました。

―現在、世界同時不況により自動車産業を始め期間従業員をめぐる問題がありますが、当時はどのような労働環境だったのでしょう？

私が勤めていたころは、とにかく人手不足で、いかに従業員を定着させるのかということが重要な課題でした。何しろ、6ヶ月の季節工の賃金はスポット市場であり、入社8年目の社員の給料を上回るほどでした。賃金を上げても、非人間的な扱いをしているので3年ほどで辞めてしまう。かといって、流れ作業で非人間的な労働をさせざるを得ないので、他の面で人間的な扱いができるようにと考えられていた時代でした。そのため「人間とは誰もが働きたがり、意欲に燃えている」という前提に立って「人間を人間らしく管理する」という理念のもとで、職場で孤独や寂しさを感じるということがないよう、小集団管理による労働形態をとるようにしました。また、従業員が入社してから初めの2年間は、1日8時間の労働のうち2時間は認定職業訓練校に入ってもらい、実習するというような、入社と同時に研修を重ねながら技術を習得する形態にしたのです。いわば、人間尊重の経営が指向されていました。

「盆栽型」教育から「栽培型」教育へ ～工業社会から知識社会へ

こうした経験から、教育のあり方について、学校教育より企業内教育の方が進んでいると感じるようになりました。言い換えると、当時の企業内教育は、外から圧力を加えて社風に合わせていく「盆栽型」教育ではなく、枝を伸びたいように伸ばしていく「栽培型」教育といえるものです。現在の多くの経営者は、賃金を安く抑え、人件費をカットすることを考える傾向にあるかと思いますが、オイルショックによる高度経済成長の終焉で人手不足が解消されてしまうまでは、優秀な経営者といえば、従業員をいかに人間的に扱い、モラール（士気）を高めて働いてもらうことを第一に考えていましたね。

―その経験が、「工業社会から知識社会へ」の転換を提唱される原点となるのでしょうか。

そうですね。工業社会を支えてきた、大量生産・大量消費による社会構造は、労働環境の問題や地球環境の破壊、ひいては人間性の喪失などの問題を内包しています。ですので、生産手段の効率性を高めることを優先して考える「工業社会」ではなく、人間そのものの知識を高め、技術革新を促すことで生産性を向上するような「知識社会」を目指すことが必要です。モノはつくるけれども、その方法を機械一辺倒ではなく人間の知識で包み込んでいくような産業を基軸とするように、産業構造の転換が求められています。私たちは今、時代が変わる大きな転換点に向き合っているのです。

能力開発型のワークフェアで産業構造の転換を

産業構造を変えるためには、社会保障のあり方も見直す必要があります。外で働いて賃金を得る男性、家庭の中で無償労働をする女性という核家族構成をもとに、現在の社会保障は考えられており、主として男性が働けなくなったときに保障するようなかたちをとっています。例えば、失業したら失業保険、病気になれば医療保険、高齢になれば年金、一定の収入が得られないようであれば生活保護、というようにです。

今後は産業構造を変えて、衰退産業から知識集約産業・サービス産業などの成長産業に人材を移していく必要があり、そのためには、そうした成長産業において求められる女性の能力が十分に発揮されるような労働市場に変えていかなければなりません。ただそうすると、家庭の中で無償労働をする人がいなくなるので、育児や高齢者の養老、病人の世話などを社会制度化していくことが求められます。そうした観点から社会保障を考えると、ワーク（仕事）とウェルフェア（福祉）を組み合わせた造語で「ワークフェア」という、いわば「就業重視の福祉」が重要になります。その中でも能力開発型のワークフェアが特に重要であり、労働市場の状況に基づいて事後的に調整するのではなく、事前にその市場を変えてい

個人の知識や能力と、そうした知的能力を互いに与え合う人間の絆（社会資本）―これらをあわせて「知識資本」と呼んでいます―を蓄積させていけるような社会的インフラストラクチュアの整備を―

こうとするものです。具体的には、育児や養老を保障して働きやすくしたり、再訓練・再教育を行い、新しい産業に対応した能力開発を行うことで、スカンジナビア・モデルあるいはオランダ・モデルと呼ばれているものです。

地域や自然にあわせた生活様式としての「文化」

さらに言えば、私たちはこれまで大量生産・大量消費を基盤に財やサービスを再分配することで、「ケインズ的福祉国家」を築いてきたのですが、これからはサービス産業、知識集約産業を基軸にしていくので、現金給付ではなく常に技術革新をおこしていけるような能力開発を行うサービス給付が求められます。こうした役割を担うのは国家ではなく、地方政府が適しているので、これを「シュムペーター的ワークフェア地方政府」と言うことができます。

―今後、地方政府に求められる具体的な役割は何でしょうか？

今、問われているのは、大量生産・大量消費を基盤とした工業社会であり、それは全世界どこでも同じ生活様式であることを前提としています。ドイツでは財政学と地政学が同時期に誕生したのですが、地政学的に考えると、人間と自然とのあいだの物質やエネルギーのやり取りを最適にする生活様式は、全世界共通ではなく、それぞれの地域や自然にあわせたものとなります。そして、そうした生活様式のことを私たちは「文化」と呼んできました。そこで求められるものは、大量生産ではなく多品種少量生産であり、量ではなく質が問われるようになります。地域ごとに気候や地形など自然条件が違うので、知恵を大量に投入して、それにあわせた新しい産業、新しい生活様式を作っていかなければなりません。そうしなければ、今の地球は維持できなくなってしまうでしょう。

地方政府がやるべきことは、それぞれの地域でどういう生活様式が最適であるのかわからないので、その地域の人たちがチャレンジできる基盤をつくることです。それは言い換えれば、個人の知識や能力と、そうした知的能力を互いに与え合う人間の絆（社会資本）―これらをあわせて「知識資本」と呼んでいます―を蓄積させていけるような社会的インフラストラクチュアを整備することです。そして、それぞれの地域の人たちが知恵を絞り、アイディアを出し、独自の生活様式をつくりあげていくのです。

社会心理学に「予言の自己成就」という言葉がありますが、これは、「未来はこうなる」という思いを描き、その思いが強いほど実現する可能性も高まるというものです。時代の転換点に立つ現代の私たちにとって、未来を予想する際には、明確なビジョンを描くことが大切となるでしょう。

※21世紀かながわ円卓会議
今年度・来年度の2カ年で「新しい都市と地域」をトータルテーマに掲げ、多様な分野の研究者、自治体首長、マスコミ、実務家などが一堂に会し、グローバリゼーションの潮流の中で地域社会のあり方について議論を展開するものです。今年度は3月20、21日の2日間、「都市と地域の未来を拓く～まちづくり・ものづくり・ひとづくり～」をテーマに行います。
http://www.k-i-a.or.jp/shonan/

「理性の悲観主義、意志の楽観主義」―
確かアラン（フランスの哲学者）の言葉だったかと思う。
意味もよくわからないけど、学生時代から好きな言葉。

1問1答

■印象に残った本
「生きる」という思想からいえば、『方法の問題』など実存主義哲学のサルトルの一連の著作ですね。「人間はやがて死んでいく、ということを覚悟して、この一瞬をいかによく生きていけるのか」ということを肝に銘じています。

■座右の銘
「理性の悲観主義、意志の楽観主義」
確かアラン（フランスの哲学者）の言葉だったかと思う。意味もよくわからないけど、学生時代から好きな言葉。私の本の読者から「先生の本を読んで、『希望というのは絶望の中からしか生れない』ということがわかりました」と言われたことがあるけど、それに近いのかな。

■生まれ変わったらどんな仕事を？
考えたことがないなぁ。丸山真男が「人間には点みたいなものがある」と言っていたけど、「点」というのは面積もなく長さもなく、ただ位置だけを示している。人間は、生きていく上でいろいろ妥協をしていかなくてはいけないが、その妥協は「点」を失わない限りでやるべきものと言っています。またサルトルの言葉に「職業というのは、ジェスチオン（演技）でしかない」というのがあるけど、どういう仕事（演技）をやっていても、その人間を人間たらしめている「点」みたいなものがあって、それを充実させて、意味を与えていくことが重要でしょうね。

■本を読む時間はいつ？
健康上の理由から、眼に負担をかけないようにするため、本をほとんど読まないようにしています。パソコンも一切やらないし、テレビも見ない。幸いなことには、テレビを見ないので時代に振り回されることがないですね。スウェーデンでは、週末を郊外の質素な別荘で過ごす習慣がありますが、そこにはテレビを置いたら失格で、本を読んだり、家庭菜園をして時間を過ごすそうですよ。

Interview Notes

多忙なスケジュールの合間にもかかわらず、ゆっくりと親しみやすい語り口と、“人間らしさ”に対する温かい眼差しで、未来への指針を語る神野さん。日本社会の現状と課題を見据えつつ、新たな社会像を語る姿は、まさに人間味あふれる未来への確信に満ちているようでした。
〔2008年12月27日、東京大学にてインタビュー／清水紀人〕

●プロフィール
神野直彦（じんの・なおひこ）
東京大学経済学部・大学院経済学研究科教授。1946年生まれ。専攻は財政学・地方財政論。内閣府地方分権推進委員会座長、内閣府地方分権改革推進会議委員を歴任し、現在、東京都税制調査会会長、政府税制調査会委員を務める。主な著書に『地域再生の経済学』（石橋湛山賞受賞、中央公論新社）、『システム改革の政治経済学』（エコノミスト賞受賞）『人間回復の経済学』『財政の仕組みがわかる本』『教育再生の条件』（以上、岩波書店）『財政学』（有斐閣）等。その他編著書多数。

KIF Report

かながわ国際交流財団実施事業
KIF レポート

第1回 日中文化講座(中華街編)

開催日　12月13日
場　所　横浜中華街(横浜華僑婦女会館、珠江飯店、関帝廟、媽祖廟ほか)

「超満員の日中文化講座」

毎年開催している日中文化講座。今年は日本で中国の「今」を感じてもらうことを目的に、横浜中華街とそこに暮らす華僑・華人の人たちの歴史と今を、講義、料理体験、探訪ツアーなどから多角的に紹介・体験してもらう「見て、聞いて、食べて感じる中国～まるごと体験、横浜中華街～」を開催しました。当日は定員を超える56名の参加者が集まり、曽徳深さん(横浜華僑総会名誉会長)による講演を聞き、珠江飯店で「中国家庭料理」を特別に作ってもらい、体験しました。また、「中華街コンシェルジュ」の案内で中華街の隠れたスポット巡り、中国茶の体験などを通じて、日本に根付いた中国文化を再認識しました。

湘南国際村アカデミア

開催日　1月31日
場　所　地球環境戦略研究機関(IGES)　第一会議室

今回は、地球環境戦略研究機関(IGES)との共催により、IGES国際生態学センター長の宮脇昭さんをお迎えし、「ふるさとの木によるふるさとの森づくり～湘南国際村から世界へ～」をテーマにした講演会を行いました。「ふるさとの森づくり」とは、植樹によりその土地本来の植生にもとづく森の姿を回復し、水源涵養、水質浄化、防災・環境保全機能など、森が本来持つ力を最大限に高めるための取り組みです。宮脇さんは、昨年5月に IGESの敷地内で行った植樹祭のエピソードを交えながら、環境を守る上で私たち一人ひとりの実践がいかに大切かを熱っぽく語り、セミナー参加者からは「自分も植樹祭に参加してみたい」というコメントが数多く寄せられました。

「地域の国際化を考える」セミナー2009
～身近にできる国際交流ボランティア～

開催日　2月7日(土)　13：30～16：30
場　所　あーる ぷらざ

今回で3回目となる本セミナー。第1部は、杉澤経子さん (東京外国語大学)をお招きし、地域の国際化の現状やその背景についてのお話を聞いてからワークショップを行いました。ワークショップでは「バーンガ」というトランプゲームから、異文化疑似体験をすることにより、常識の違いによる摩擦、マイノリティの立場や気持ちを体感することができました。

第2部のパネルトークでは3名のゲストをお招きし、外国籍の方の来日当初のお話やボランティア活動における人との出会いの大切さなど、これからボランティア活動を始めようとする人にとって参考となるお話を聞き、内容の濃いものとなりました。

外国につながる子どもの支援を考える
～中国・フィリピン出身の子どもたちの今～

開催日　2月11日(水・祝) 13：30～17：00
場　所　あーる ぷらざ

15歳前後で中国やフィリピンから来日する子どもたちが増えているのを受け、来日の背景や置かれている状況、支援のあり方について考えるフォーラムを開催しました。

第1部では学校、地域、NGO等の現場からの報告があり、子どもたちを支え将来につなげていくためには、彼女/彼らの背景の理解や居場所づくり、保護者に対する情報提供も大切だという報告がされました。第2部では参加者も交えてより充実した支援体制のあり方について議論を行いました。高校進学率や卒業率等、実態把握のための調査の実施、ボランティアに依存しすぎない支援体制の整備、高校進学準備のためのフリースクールの開設などが必要だという意見が出されました。

Event Schedule

これから開催される催し
イベント　スケジュール

会員のつどい

日　時　3月22日（日）13：00〜15：30
場　所　あーすぷらざ 1階　ワークショップルーム、研修室 A

第１部「やさしい英語でヨガを体験」（13：00〜14：00）
　エリザベスさんによるやさしい英語でのヨガ体験
第２部「メリーランド州についての紹介」（14：10〜15：30）
　英会話講師ピーターさんによる体験談の紹介および２人の講師との交流会（通訳付）

対　　象：会員
定　　員：30名
参 加 費：500円（茶菓代）
申込方法：氏名、電話番号、E-mail、参加希望（第1部、第2部）を下記まで
持 ち 物：（第１部参加の方）バスタオル、動きやすい服装
問 合 せ：国際協力課（担当：とみもと）
申 込 先　TEL：045-896-2964（祝日除く月曜休み）
　　FAX：045-896-2945
　　E-mail：minsai@k-i-a.or.jp

第2回　日中文化講座

「文化の万華鏡、中国　―若者のファッション意識とライフスタイル―」

日　時　3月22日（日）　13：00〜16：00
場　所　あーすぷらざ 5階 映像ホール

「今の中国」ってどうなってるの？ そのような疑問に対して、「若者のファッション、ライフスタイル」、「世代間、地域間、民族間の価値観」などをキーワードに、東レ経営研究所客員研究員の坂口昌章さんと明治学院大学教授の宋立水さんにご講演をいただきます。

対　　象：一般
定　　員：定員80名（先着順）
参 加 費：無料
申込方法：氏名、電話番号、FAX、E-mail、住所を下記まで
問 合 せ：湘南国際村学術研究センター（担当：いまい）
申 込 先　TEL：046-855-1822（土日休み）
　　FAX：046-858-1210
　　E-mail：imai@kif.ac

第3回 映画上映会『チャレンジキッズ』
アカデミー賞ノミネート、全米映画祭多数受賞

日　時　3月27日（金）14：00〜15：45（開場13：30）
場　所　あーすぷらざ ２階　プラザホール

監督・製作・撮影：ジェフリー・ブリッツ、アメリカ、97分カラー
配　　給：ハピネット・ピクチャーズ、パンドラ

全国参加総数900万人。約80年もの歴史を持ち、絶大な人気を誇る「全米スペル暗記大会」。子どもたちはたった1人のチャンピオンの座を目指して、47万語を超えるリストの中から出題される単語の綴りを覚え、トーナメントを勝ち抜いていく。本作品は、この大会にチャレンジする8人の子どもたちとその家族をめぐる真実のストーリー。

定　　員：200名
参 加 費：一般800円、前売り600円　高校生以下600円、財団会員400円
　※前売券は、あーすプラザ窓口で前日の午後5時まで販売。電話予約は受付けません。払い戻しは不可。なお、財団会員の方は事前精算の必要はありません。※未就学児は無料。
問 合 せ：国際協力課（担当：ふくしま）
申 込 先　TEL：045-896-2964（祝日除く月曜休み）

青少年国際セミナー（K-PIT）
「世界の入り口に立とう〜地球市民ってなんだろう」

日　時　3月27日（金）〜29日（日）（2泊3日）
場　所　東海大学　湘南キャンパス

最近、よく「地球市民」という言葉を耳にしますが、地球市民とは一体、何なのでしょうか?「講演」や「ワークショップ」「留学生との交流」「参加者同士の語り」から地球市民について考え、世界の入り口に立つための視点を身につけます。

対　　象：高校生またはその年齢の方
定　　員：定員30名
参 加 費：8,000円
申込方法：財団ホームページ（http://www.k-i-a.or.jp/index.html）から参加申込書をダウンロードの上、下記まで
問 合 せ：湘南国際村学術研究センター（担当：なかにし）
申 込 先　TEL：046-855-1821（土日休み）
　　FAX：046-858-1210
　　E-mail：nakanishi@kif.ac

Mail Magazine
メールマガジン

かながわ国際交流財団が行うすべての催しの情報を入手したい方は、メールマガジンの読者登録をお勧めします。
登録はこちらの URL にアクセス▶http://www.k-i-a.or.jp/mail-maga

KIF Seminar& Lesson

世界の文化セミナー

1 ケーナ講座

日　　時：4/8、4/22、5/13、5/27、6/10、6/24、7/8、
　　7/22、8/5、8/26
　　12：00～13：00（入門）、13：10～15：10（初級）
　　15：20～17：20（中級）
場　　所：あーすぷらざ 1階　研修室 A（入門）、
料　　金：創作スタジオ（初・中級）
　　※教室は申込者数に応じて変更する場合があります。
定　　員：【財団会員】14,700円（税込）【一般】15,750円（税込）
講　　師：※受講料は開講日の1週間前までにお支払い下さい。
　　入門クラス７名、初・中級クラス15名
　　長岡竜介

2 やさしい英語でヨガ

日　　時：10：30～12：00
土曜コース：4/11、4/25、5/9、6/13、6/27、7/11、7/25、8/8
日曜コース：4/12、4/26、5/10、6/14、6/28、7/12、7/26、8/9
場　　所：あーすぷらざ 1階　創作スタジオ
料　　金：【財団会員】11,000円（税込）【一般】11,800円（税込）
　　※受講料は開講日の1週間前までにお支払い下さい。
定　　員：18名（先着順）
講　　師：ルクミニ

3 太極拳

日　　時：毎週水曜日10：30～12:00
場　　所：あーすぷらざ 1階　ワークショップルーム
料　　金：【財団会員】14,700円（税込）【一般】15,750円（税込）
　　※受講料は開講日の1週間前までにお支払い下さい。
定　　員：20名（先着順）
講　　師：中津泰定

4 親子ダンス

日　　時：第1期 4/14、4/21、4/28、5/12、5/19
　　第2期 6/9、6/16、6/23、7/7、7/14
　　9：45～10：45（はやおきコース）
　　11：00～12：00（ゆったりコース）
場　　所：あーすぷらざ 1階　ワークショップルーム
料　　金：【財団会員】2,500円（税込）【一般】2,800円（税込）
　　※受講料は開講日の1週間前までにお支払い下さい。
定　　員：20名（先着順）
講　　師：中谷まりも

■問合せ・申込み：国際協力課
TEL:045-896-2964（祝日除く月曜休み）FAX:045-896-2945

KIF Seminar& Lesson

春期英会話講座

	火		水		木		金		土
	研修室 A	研修室 B	研修室 A	研修室 B	研修室 A	研修室 B	研修室 A	研修室 B	研修室 B
10：30～12：00		火１の初級 SP		水１の中級	木１の中級	木１の上級 SP	金１の初級	金１の基礎 SP	土１の特 A
		ピーター		ジョエル	ルトガー	ピーター	ピーター	アイラ	ピーター
13：30～15：00		火２の中級 SP			木２の中級	木２の上級	金２の上級	金２の初級	土２の上級
		ピーター			ルトガー	ピーター	ピーター	アイラ	ピーター
15：30～17：00				水３の初級				金３の上級 SP	土３の中級
				ジョエル				キース	ピーター
18：30～20：00	火４の中級	中止	水４の初級	水４の中級	木４の初級			金４の初級	
	ベス		ベス	ジョエル	ルトガー			キース	

※網掛けは申し込みが多いクラスのため、残席については事前にお問い合わせください。
※「火４の上級 SP」クラスは中止となりました。

講　　師：ピーター、ルトガー、ジョエル、ベス、アイラ、キース、渋田
期　　間：2009年4月～2009年8月
　　（各クラス原則として週1回全18回、対象は16歳以上）
場　　所：あーすぷらざ 1階　研修室 A、B（JR根岸線「本郷台」駅左手すぐ）
振　　替：欠席した授業の最大3回まで振替クラスに参加可能（基礎・初級対象6回と中級・上級対象8回の全14回、各回定員12名程度）
　　振替クラスは、日曜日の10：30から研修室 Bで開催します。開講後しばらくしてから開始。

■問合せ・申込み：国際協力課
TEL:045-896-2964（祝日除く月曜休み）FAX:045-896-2945

	非財団会員（税込）	財団会員料金（税込）
通常クラス（初・中・上級 / 定員 12 名）	42,900 円（一般） 41,400 円（学生）	39,900 円 （一般・学生）
SP（セミプライベート）クラス（基礎、初・中・上級 SP/ 定員 6 名）	62,850 円（一般） 61,350 円（学生）	59,850 円 （一般・学生）
プライベートクラス（土１の特 A/ 定員 3 名）	82,800 円（一般） 81,300 円（学生）	79,800 円 （一般・学生）

○クラスにより別途教材費（3,000円程度）が必要な場合があります。
○申込み時に財団会員に入会可能（年会費一般3,000円 /学生1,500円）。入会後すぐに会員料金が適用されます。
○申込みが最小開催人数に達しないときにはそのクラスの開講が中止になることがあります。その際は全額返金します。

春の初級英会話（淵野辺開催）

残席わずか

講　　師：ジョナサン・リンチ
　　麻布大学英語専任講師
日　　時：4/28から火曜日開催　全10回　18：30 ～ 20：00
　　（※5月5日は休み）
場　　所：神奈川国際学生会館 淵野辺　1階 研修室
　　神奈川県相模原市鹿沼台1-10-22（JR横浜線「淵野辺」駅南口より徒歩3分）
対　　象：初級者（英語で簡単な文を話せる方）
料　　金：受講料　21,000 円（税込）+ 財団会費　3,000 円（一般会員）または1,500 円（学生会員）

かながわのキーパーソン

かながわで様々な
分野において活躍している
人を紹介します。

片岡　希さん（映画『中華学校の子どもたち』監督）
「切り取り、伝えること」

幼少時、父親の勧めで映画や純文学に親しみ、週末には映画鑑賞に出掛けた。中国に関心を持ったのは家族や学校の先生の影響。大学で中国語を学んだ後、留学先の北京電影学院で、撮影手法や映画理論を学んだ。

ある時、授業の中で反日映画を見た。館内中でシュプレヒコールや足踏みが鳴りやまない光景を目の当たりにし、一つの出来事であっても、立場や視点の違いで受取り方が180度変わることを思い知らされた。

帰国後、劇映画の仕事の合間を使いドキュメンタリー作りに取り組んだ。横浜山手中華学校の子どもたちの日常を映した『中華学校の子どもたち』が自身初の劇場公開監督作品となった。

中華学校をテーマにしたのは、同じ日本に住んでいるのに、知ることの少ない在日華僑の生活や文化に目を向けてもらいたいと思ったからだ。撮影まで中華学校へ足繁く通い、関係を築いた。

ドキュメンタリー（記録）は、撮影を通して人とのつながりが築けるのが魅力だという。しかし関係が深くなるとお互いの感情が撮影に影響を与えてしまう。適度な距離感を測り、ここぞというときに「カメラを出す」のが難しい。

ドキュメンタリーとして残すということは、その人の一生を左右することになる。たとえ10分間のインタビューであっても、その人の人生を「切り取る」その「撮ることのおそろさ」を想像して撮らなければならない。

映像で記録し、現実を切り取り、それを監督の意図でつないでいく作業は、想像以上に重みがある。つなぎ方を間違えれば、誤った事実を伝えることになりかねない。

今作において、「切り取る」意味とは何か。「中華学校が大変だった時期に頑張った先人たちの思いは、今しか切り取ることができない。日本人として華僑の暮らしを記録し、老華僑の言葉や表情から日本社会を映したい」

撮影に協力してくれた子どもの感想が印象的だった。「自分たちにも知らないことがあった。（学校を）卒業して日本人に出会った時に“伝えたい”」

『中華学校の子どもたち』
http://www.chukagakko-movie.jp/

プロフィール：北京電影学院導演系（国立北京映画学院監督学部）・早稲田大学大学院 GITS修了。電影学院在学中は司徒兆敦監督に師事。『ヨコハマメリー』（監督：中村高寛）プロデューサー。

MIXED RECOMMEND

KIF スタッフから
本・映画・音楽などの
おすすめを紹介します。

「フツウ」ということ

そもそも「フツウ」とは何でしょうか？それが、何のためらいもなく「居心地がいい」状態が続くことだとしたら、「フツウ」でいることは、案外難しく、空恐ろしい状態だと感じます。しかし、その基準は置かれている環境によって、ずいぶん違うということにも気づきます。紹介する３作品から「フツウ」の狭間を探ってみませんか。

『男たちへ　フツウの男をフツウでない男にするための54章』

著　　者：塩野七生
出 版 社：文藝春秋
出 版 年：1993年（文庫版）

『ローマ人の物語』で知られる著者のエッセイ。1983年～88年に書かれたものだが、その鋭い観察眼は、現代男性への言葉としても受け止められるものが多い。イタリアを拠点に活動する著者の言から見えてくるのは、オリジナリティこそ「フツウ」を乗り越える最上の術だと思われる昨今だが、実は「フツウでない」状況とは、古代ギリシア、ローマから連綿と続くヨーロッパの基準、スタンダードに裏打ちされているからこそ生まれる「遊び」だということだ。

『「普通の女の子」として存在したくないあなたへ。』

著　　者：村上龍
出 版 社：幻冬舎
出 版 年：1997年（文庫版）

「『依存』はこの世の中の最大の悪である」という著者が、何かにもたれることなく生きようと女の子へ向けたエッセイ。それは、「お互いに依存し、干渉し合う閉鎖的・均一的な共同体は、そこに入って来るものと、そこから出て行こうとするものを本能的に嫌う」ことへの抵抗であり、飛び出してしまったものへ向けられる集団の目からの独立宣言だ。そこには、この国を未だ覆う「普通の男の子」中心の共同体に対する苛立ちも感じられる。

『人並みといふこと』

著　　者：しりあがり寿
出 版 社：大和書房
出 版 年：2008年

漫画家である著者のエッセイ。自身の人生の一大転機であったというサラリーマン生活を辞めた頃を、「人並み」から外れようとする方法自体が、実は「人並み」なやり方だったのではないかと振り返る。油断していると常に置いて行かれる“流行のような”「逃げ足が速い」「人並み」のスパイラルから完全に逃れることは難しくとも、「人に行き先を委ねるより、自分で行き先を決め、運転してったほうがよっぽど後悔がない」のかもしれない。

〈お詫びと訂正〉

前号に掲載した『知をめぐる対話』でインタビューした山崎さんのお名前が間違っておりました。関係者の方々にお詫びいたしますとともに、次のように訂正させていただきます。

（正）山崎美貴子　　（誤）山崎貴美子

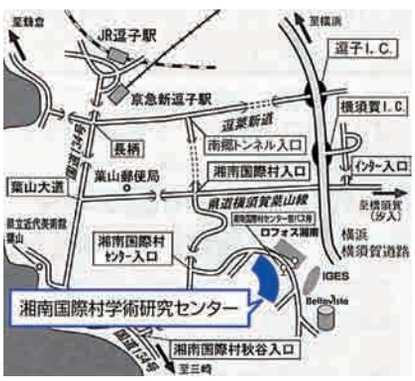
かながわ国際交流財団ニュースレター
2009年3月1日発行　第12号

発行／財団法人かながわ国際交流財団
〒247-0007　横浜市栄区小管ヶ谷 1-2-1 あーる ぷらざ 1F
TEL：045-896-2626（代表）　FAX：045-896-2945
URL：http://www.k-i-a.or.jp　E-mail：minsai@k-i-a.or.jp
印刷・DTP ／有限会社　青史堂印刷

広告を掲載しませんか？

各ページに広告を掲載するスペースを設けています。県内で国際協力・国際交流の活動を展開している市民活動グループをはじめ、図書館、公民館、パスポートセンター、県立高校、市町村国際担当部署、市町村教育委員会、市町村区役所、県庁、会員などに配布しています。発行部数は 7,000 部です。どうぞお気軽にお問い合わせください。

JR 根岸線「本郷台」駅改札出て左すぐ



バスでお越しの場合　JR 横須賀線「逗子」駅前 1 番乗り場より、16 または 26 系統「湘南国際村」行きバスに乗車、「湘南国際村センター前」下車。所要時間約 25 分　料金 340 円

●かながわ国際交流財団（略称「KIF」）は・・・

地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いを越えて、人間らしく暮らせる社会の実現のため、人と人のつながりを大切にした国際交流・国際協力、地球市民意識の高揚と多文化共生社会の実現、国際的な人材の育成、学術・文化交流並びに世界に向けた情報発信など様々な事業を展開しています。

●KIFサポーターになりませんか？

財団の活動を支援してくださるＫＩＦサポーター（賛助会員）を募集しています。会員になると…

・財団が主催する各種催しを掲載した情報誌をお送りします。
・当財団の出版物の割引サービスが受けられます。
・会員の方を対象にした催しへ招待します。
・会員証の提示で、提携エスニック・レストランの優待サービスが受けられます。

※会員登録を希望する方は、財団までお問い合わせください。振込用紙など関係資料をお送りします。

★当財団は、2006年４月より、神奈川県から指定管理者の指定を受け、あーる ぷらざ（地球市民かながわプラザ）を運営しています。
★このほか、神奈川県国際研修センターと神奈川国際学生会館を運営しています。

編集後記

「食べるよりも勉強したい。」コンゴ内戦の中、避難所でユニセフから支給された文房具を片時も離さない子どもたちの写真を見ました。世界には小学校に通えない子どもが約 9 千 3 百万人いるそうです。学べることに感謝しつつ、自分は子どもたちのために何ができるのかと問いました。（ざき）

【広告】

世界の人とつながろう。体験しよう、言葉を超えたコミュニケーション。

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア

応募期間：平成21年4月1日～5月18日

神奈川県説明会日程は JICA 横浜 HP より

http://jica.go.jp/yokohama/index.html

JICA ジャイカ

＊情報誌に掲載されているイベントへのお申し込みの際にお知らせいただいた個人情報は、イベント受付以外の目的には使用いたしません。